

第37回

# 新能

TAKIGINOH

いわむら城址



令和5年

8/19(土) 午後5時30分開始  
(午後4時30分開場)

場所 岩村城藩主邸跡

岩村歴史資料館駐車場/岐阜県恵那市岩村町98

岩西小学校 体育館

岐阜県恵那市岩村町1524-1

茶会 8/19(土)

午後1時～午後3時30分

茶室 圓月

料金 大人 1,500円  
中学生 800円

星茶券

500円(葉子付)

裏面券券あり(岩村山荘内)

土曜・日曜営業

舞踏子「海人」内藤 飛能 体

狂言 「寝音曲」茂山 逸平 体

能 「鞍馬天狗」

裏面券文化財認定指定演者 桜巳満次郎 体

チケット発売中

大人 昼 3,000円  
夜 3,500円

大学生 2,000円

高校生以下 1,000円

チケットぴあ ジョイセブン(券売机) 0573-65-1177

ふるさと納税の返礼品に

「第37回 いわむら城址 新能」のチケット

をお選びいただけます!

チケット取扱所

岐阜県恵那市岩村町1524-1  
恵那市観光協会 岩村支部 ☎ 0573-43-3231

惠那文化センター ☎ 0573-25-5121

岩村コミュニティセンター ☎ 0573-43-3722

チケットぴあ ジョイセブン(券売机) 0573-65-1177

お問い合わせ先 恵那市観光協会 岩村支部 TEL 0573-43-3231

主催/いわむら城址新能実行委員会

後援/恵那市 恵那市教育委員会 恵那市観光協会岩村支部

恵那商工会岩村地域委員会 市民三省岩村委員会 城下町ネットいわむら

お問い合わせ先

恵那市観光協会 岩村支部 TEL 0573-43-3231

## 番組

仕舞「草紙洗」 小町 玉井 博 結  
佐藤 耕 司  
辰巳 大二郎  
辰巳 和 喜

舞離子「海人」 鮎女 内藤 飛能  
竹市 学  
小野 藤 嘉津幸  
大河村 國之介  
太鼓 加藤 洋 順  
地盤 和久 祭太郎  
辰巳 和喜  
石塚 尚寿

狂言「寝音曲」 太郎冠者 茂山 逸平  
主人公 松本 薫  
後見 増田 浩紀

能「鞍馬天狗」 有山伏 白頭 後 大天狗  
牛若 片桐 敏  
花見櫻元 岩村の子供たち  
東谷の僧 飯富 雅介  
轟力 島田 洋 河原  
天狗甲 松本 薫  
天狗乙 茂山 逸平  
天狗丙 増田 浩紀  
芭 竹市 学  
小野 藤 嘉津幸  
大河村 國之介  
太鼓 加藤 洋 順  
後見 辰巳 大二郎  
地盤 佐藤 耕 司  
和久 祭太郎  
内藤 飛能  
石塚 尚寿  
片桐 智 真  
中村 成利  
清水 達郎

[会場] 岩村城藩主邸跡  
雨天/岩邑小学校 体育館

## 仕舞「草紙洗」について

有名な歌人たちを渠の途中にてて歌合せ。まず小町小田が「水辺の歌」という歌で見事な歌を披露し傍も賛美すると大伴主がそれは万葉集にすでにあると草紙を贈れます。白らの歌を大勢の前で詠じたされた小町は墨色が違うとして詠いたいと申し出で要検試みると、墨は流れ落ちる主の墨だけみは黒見する羽目に。白寄しようとする主をそれも歌道を良くしようとする歌の行いと止める小町に帝も許し舞を所望する。仕舞はこの大団円、満々しい舞の披露に歌合せは祝意に満ちた雰囲気に終ったのです。

## 舞離子「海人」について

講談国志摩浦に母の手に説かれた房前大臣たちの前に一人の海女が現れ、海底の月を見る為に藻を刈りのけよとの言葉に普物語をする。貢税公の妹君が海へ嫁がれ豪華から御宿等へ三つの宝が贈られたが直向不背の珠だけがこの沖で電宮に取られてしまいそれを取り戻そうと浪花公は身をやつして海女と契を成し子供を授けた。その海女との約束に見事珠を取り戻せたらこの子を世継ぎの皇に。今の房前の大臣がその人。海女は母との戦いに血にまみれ身もぢざられて悲絶したのです。

房前の大臣は不撓な母の胸に誓約書など様々な法要をしていると(舞離子の場面)。娘の姿となつた海女は妙法蓮華經の説法や法要に冥途の船の世界から救い出されてあります。なおお供く舞離子に脚を賣り成仏の姿を見せることが出来、この管弦が古寺寺法華八講会の始まりとなつた。

## 狂言「寝音曲」について

主人に妻を贈ると言わされた太郎冠者は、主人の前では恥ずかしいとの、これからもたびたび贈わされることは困ると思い、酒を飲まなければ声が出ないとか、妻の嫁紋で幸運が運ばれないと匂体をつけます。しかし、主人はどうしても太郎冠者の妻が聞きたいので、大庭を持ち出し酒を飲ませます。酒が弱くなる太郎冠者はここぞとばかり口一杯飲んだ挙句、主人の嫁紋で酔ひはじめますが、寝ているときは覚えるが起きると声がでなくなるような振りをします。何度もくり返すうちに太郎冠者は途中で覗き入る。寝たときに声を出さず、起きたときに声を出すようになります。もともと酔つたり寝つたりするのが嫌いでない太郎冠者はついつい妻子に乗つて…。

## 能「鞍馬天狗」について

鞍馬の西谷は今が花の盛りというので、東谷の子ども達が大勢うち崩って花見に出かけました。ここに一人の山伏がいて花を摘んでいたので、他人が一組の花見は興がないと、子ども達は連れだって逃げてしましました。この時、ただ一人居残った子どもが、花の下では半日の客でさえも隠しく交わることができるとくらいいだから、あなたも近く寄って花を見なさいと云つて、山伏と馴れ親しみました。先程この壇を立ち去った子ども達は平家一門貴族の子ども達であり、隠残った少年こそ常陸守の三男松浦主で、父義朝が殺されたのち、この山谷に入つて修行をしている牛若でした。牛若が山伏にどのような人がと尋ねると、私はこの山に永く住んでいる大天狗であるが、あなたに兵法の大事を授けて平家を討たせたい為に来ました。あなたにその奥義があるならば、改めて明日お会いしましょうと告げそのまま雪を踏んで飛び去りました。

牛若は毎日早やかな浴槽で鍔刀を磨く間に僧正が谷へ行くと、昨日の大天狗がお供の天狗を伴つて現われ、昔、中國の黄石公が張良に兵法の三略を授けたといふ故事などを語り、兵法の奥義を余すところなく伝授し、お供行先多くあなたに寄り添つて力をつけるであろうと云い残して、夕影の駒馬の刺繡く降け飛び去ります。



## お問合せ先

町並みふれあいの館内(恵那市観光協会 岩村支部)  
いわむら城址薪能実行委員会

電話 0573(43)3231

(JR利用の場合) 名古屋 → 愛知県内 中央自動車道 愛知県内 岩村城藩主邸跡 会場  
(マイカーの場合) 名古屋IC → 愛知県内 中央自動車道 愛知県内 岩村城藩主邸跡 会場

- 駐車場/岩村城藩主邸跡、岩村城跡保存地区・岩村町コミュニティセンター  
(西天神) 岩村小学校グラウンド(掲示の表示に従つてください)
- 岩村町内は一方通行が多いので注意してください。 ●夜市日、上越等をご持参ください。